

平成14年第4回定例会 教育文化会館条例 などを改正

昨年11月27日から12月9日まで開かれた平成14年第4回定例会の概要をお知らせします。
また、昨年12月5日から19日までに開かれた各委員会の活動状況についてもお知らせします。

編集●札幌市議会事務局 ☎211-3162

市議会ホームページアドレス ● <http://www.city.sapporo.jp/gikai/>

可決された議案

●一般会計補正予算

▽次の内容で総額七億六千六百万円を追加しました。
・ 学校内の情報通信ネットワーク環境の整備
・ 不足が生じる見込みとなった法人市民税の還付金などの追加、および介護給付費の増加に伴う介護保険会計への繰

出金の追加

▽市職員の給与改定に伴い、議員の期末手当分を含め、次の内容で総額二十六億九千五百五十九万六千円を減額しました。

- ・ 職員費などの減額
- ・ 特別会計と企業会計への繰出金の減額

●教育文化会館条例の改正

現在、全面改修中の教育文

化会館（五月再開予定）に、新たに研修室とギャラリーを設け、その使用料を定めるとともに、事業内容その他の規定について所要の改正を行いました。

●消防本部及び消防署設置条例の改正

白石消防署を白石区南郷通六丁目北に建築中の新庁舎に移転（三月を予定）するための改正で、庁舎には市民防災センターが併設されます。

このほか、札幌市石狩市茨戸下水処理場管理組合の解散及び解散に伴う財産処分に関する協議の件など、合計三十一件が可決されました。

また、人権擁護委員候補者推薦に関する件については、推薦することを適当と認めました。

可決された意見書案

○季節労働者の雇用の確保と生活の安定を求める意見書
○パートタイム労働者等の適正な労働条件の整備を求める意見書

○基礎年金における国庫負担割合の引き上げを求める意見書
○児童扶養手当制度の見直しに関する意見書

○総合的な子育て支援策の実

施を求める意見書
○障害者福祉における「支援

代表質問から

今回の定例会では、十二月三日から二日間の日程で、高橋克朋議員、藤原廣昭議員、涌井国夫議員、岡千陽議員が代表質問を行いました。

その中から主なものをお知らせします。

電線類地中化の推進

問 電線類の地中化については、安全かつ快適な歩行空間の確保、都市景観の向上、地域の活性化、さらには都市災害の防止などの観点から、本市では昭和六十一年度からスタートし、都心部ではほぼ終了した。

現在は、札幌市長期総合計画に基づく多中心核都市構造の実現に向けた拠点の育成・整備として、都心部のほかに高次都市機能拠点である東札幌のコンベンションセンターや北大周辺、広域交流拠点である手稲駅周辺で、電線類の地中化事業を行っている。さらには東区役所周辺の光星地区や西区役所周辺の琴似地区などの地域中心核にも整備地域を拡大し、中規模な商業系区域についても整備を進めているとのことである。このよ

「費制度」の実施に関する意見書

うな地域中心核や広域交流拠点における電線類の地中化事業について、今後どのように取り進むのか伺いたい。

答 現在、平成十五年度までの第四期電線類地中化計画に基づき、鋭意整備を進めているところであるが、平成十六年度からは、国による新たな電線類地中化計画が策定される予定である。今後、これを受けて、電線管理者などの協力を得ながら、地域中心核など事業効果の高い地域から、電線類地中化について検討をしていきたいと考えている。

今後の青少年の健全育成

問 行政は、子供に対する虐待の増加、女性の社会進出による留守家庭児童の増加、不登校や引きこもりの児童・生徒の増加などの問題への対策にもっと積極的に取り組むべきかと考える。同時に、環境